

道路建設工事における交通事故（道路）災害の死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	15～16	走行中、前の4tダンプが信号待ち車両があったため停止しようとしたところ、後から走っていた本人運転の車が追突した。	45～49	30
1	15～16	走行中、前の4tダンプが信号待ち車両があったため停止しようとしたところ、後から走っていた車に同乗している車が追突した。	40～49	30
2	17～18	現場作業が終わり、資材置場までの移動中で前方不注意により3tダンプで停車中の一般車両に追突した。	42	—
2	18～19	業務にてトラックを運転走行中、前に乗用車が割り込んできた為、右へ車線変更したところ、その乗用車も同様に右へ車線変更してきた為、自車は急ブレーキを掛けスリップして横転して、受傷した。	53～9	1
4	21～22	夜センターラインの照度確認のため1人で写真撮影している際、黄色の作業車が南側車線の路肩に停車していた。写真撮影のために対向車線に黒板を持って出たところ、東から西方向に走行し作業車を追い越し中の車にひかれた。	68～9	1
4	8～9	交差点先で、本社資材倉庫よりユニック車で資材搬送中、一時的に低血圧により意識を失ったと思われ、反対車線にはみ出し、停車中のトラックに衝突した。	68～49	30
5	16～17	路肩で、規制標識の解除終了後、規制車に乗り込み、シートベルトを着用する前に大型車両（キャリアカー）が右後方に追突した。その際に約5m下の車道に規制車ごと転落し、車は大破し、乗車していた3名が負傷した。	40～29	10

6	8~9	会社所有の軽トラックで、道路除草作業の箇所範囲を確認して集合場所に帰る途中、一時停止して右折しようとしていたところ、後ろから2tトラックに追突され、首と腰を強打した。	30	1 ~ 9
7	12~13	労働者が国道を舗装中、国道沿いの建物の駐車場から乗用車が道路に出た際、ブレーキとアクセルを踏み間違え前方の乗用車に追突し、その衝撃でハンドルを切っ てしまい、工事中の労働者と他作業員の合計2人に接触し、さらにコンバインドロー ラにぶつかり停止した。	59	10 ~ 29
7	6~7	弊社の倉庫から入船の現場へ3トンダンプで移動中、ガードレールに左前方を激突 し、約10メートル車体を擦って停車した。運転手は怪我をしていないが、助手席同 乗者は左足を負傷し、左足を固定するための手術を受けた。原因は、運転手が右手 でホルダーからペットボトルを取ろうとし、一瞬、脇見をしたことによるものであ る。	51	50 ~ 99
7	13~ 14	工事施工場所へ向うため、徒歩で路側帯内を進んでいたとき、後方から走って来た ライトバンにはねられた。	33	1 ~ 9
7	13~ 14	2車線中1車線を規制し、決められた安全策のもと道路舗装工事中、下ってきた大型 トラックが運転手の操作ミスにより、作業用車両（ユニック車）に突っ込み、その はずみでユニック車に撥ねられ負傷した。	45	10 ~ 29
7	13~ 14	2車線中1車線を規制し、決められた安全策のもと道路舗装工事中、下ってきた大型 トラックが運転手の操作ミスにより、作業用車両（ユニック車）に突っ込み、その はずみでユニック車に撥ねられ負傷した。	40	10 ~ 29
7	13~ 14	2車線中1車線を規制し、決められた安全策のもと道路舗装工事中、下ってきた大型 トラックが運転手の操作ミスにより、作業用車両（ユニック車）に突っ込み、その はずみでユニック車に撥ねられ負傷した。	28	10 ~ 29
7	13~ 14	2車線中1車線を規制し、決められた安全策のもと道路舗装工事中、下ってきた大型 トラックが運転手の操作ミスにより、作業中の被災者に衝突し即死した。	47	10 ~ 29

7	14～ 15	路肩規制を行い、草刈作業を実施中、警備員の笛の指示に従い作業を中断し、車両が通過するのを待っていた。その際、左外側線より草刈機の先端が車道に出ており、後方より走行して来た軽乗用車の前方と接触した。その反動で左横方向に一回転し負傷した。	24	1 ～ 9
10	15～ 16	現場が終了し、自社へ帰る途中、雨の中、走行して、カーブ部分でハンドル操作を誤り、スリップして車が外壁に接触してハンドル部分に胸部を打撲被災したものである。	75	10 ～ 29

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_09.html